

会報 下館ロータリークラブ



Lend a Hand

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2003-2004

RI会長 ジョナサン B. マジニアベ

RIテーマ 手を貸そう

No.1927

発行日：平成16年1月14日

本日のプログラム

●外部卓話

航空自衛隊百里基地第7航空団司令部
防衛部長 和泉 永一 氏

前例会報告 第2157回 2004/1/7(水)

会長挨拶

日向野 陽 会長

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい2004年の新春を迎え、会員の皆様に心からお慶びを申し上げます。

上半期に付きましては、皆様方のご協力とご指導を頂きまして無事終了する事が出来ました。あらためて御礼申し上げます。

恒例の下館RC新年初打ちゴルフコンペが、汗をかく程のボカボカ陽気の中、1月3日ASIA・CCに於いて開催されました。親睦活動委員会のお骨折りにより多数のご参加を頂き賑やかに楽しく出来ました事お礼申し上げます。

後程、スマイルBOXにて発表があると思いますが、大接戦の末に大ベテランの増淵文夫会員が優勝・若手のホープ永盛友治会員が準優勝致しました。増淵さん・永盛さんおめでとうございます。

尚、初参加の会員が3名いましたが飯田会員と館野会員はプロ並みのスコアでグロス70位の素晴らしい成績でした。強力なライバルが入会致しました。相手にとって不足はありません。次回からのコンペがより楽しくなる事と思います。

鴨志田寿夫さんが本日より入会

12月に入会承認を頂きました、鴨志田寿夫さんが本日より出席致します。後程、推薦者の柿田会員よりご紹介があると思いますが宜しくお願い致します。

永盛 孝会員退会

本日の理事会にて永盛 孝会員の退会が承認されました。12月に退会届が提出されていたので、何度か説得したのですが仕事の都合で退会しますとの事です。誠に残念です。

下半期も、クラブ例会がより活性化され・楽しくする為にも、会員の皆様方の上半期に倍しましての、ご指導とご協力をお願い申し上げまして、新年の挨拶と致します。

次週のプログラム

●外部卓話

桜のはなしあれこれ 田中 秀明 氏

新 入 会 員 紹 介

鴨志田 寿夫さん

<生年月日>

昭和30年3月8日

<住 所>

千葉県市川市

<勤務先>

ジーク証券下館営業所

<家族構成>既婚、子供二人

<趣 味>ゴルフ・ラグビー・読書(歴史)・落語鑑賞

<推薦者>柿田平吉会員



理事会報告

小林 一彦 幹事

1. 2月例会プログラムを承認
2. 2月11日(水)祭日休会・2月18日振替休会を承認
3. 2月15日(日)分区ファミリー大会全員登録・参加を承認
9:00 登録(会場までは各自にてお願いします)
13:00 閉会 「蔵の町真壁ウォーキングラリー」
4. 「愛の基金」(ポリオプラス撲滅運動基金)の使用手順について
日立化成工業部課長親睦会様よりの寄付金「愛の基金」(25万円)を当クラブとツインクラブを締結するネパール(ポリオプラス対象国)にてポリオプラス撲滅運動基金として使用してほしいとの要望がありましたのでその使用手順として分割(2年)にて寄付することを承認
5. 地区大会特別表彰について
対象者の確認を幹事及び副幹事に一任する事を承認
6. 永盛 孝会員の退会を承認

幹事報告

小林 一彦 幹事

1. RIより半期報告書などの資料を受理
2. (財)ロータリー米山記念奨学会より2003年度下期普通寄付金のお願い状を受理
3. (財)日本花の会より機関誌「花の友」85号を受理
4. 関東財務局より広報紙「財務かんとう」No97を受理
5. THE ROTARIAN 2004年1月号受理
6. RI第2820地区第6分区ガバナー補佐軽部正紀様より新年の挨拶状が届いております。
また、以下の方からも届いております。
イ) RI第2820地区ガバナー 清水 清様
ほか、ガバナー事務所スタッフ一同様

口) 日立RC会長 武士 洋一様
地区大会実行委員長 役重 道明様
ハ) RI2004年国際大会実行委員会様
ニ) 映画波山製作委員会
ホ) 全国ロータリー野球大会
コミッショナー 瀬川 正義様

●例会場・日時変更のお知らせ

・真壁RC

1月13日(火)の例会は下記に変更します

【日時】1月13日(火)午後7時~

【場所】うおくら 【事由】新年懇談会のため

●会報受理

結城RC、岩瀬RC

RC第147回ゴルフコンペ報告

親睦委員会 鈴木 光則 委員長

恒例のRC初打会が19名の参加で2004・1・3アジア下館カントリー倶楽部で開催されました。優勝は増淵文夫さんでベテラン会員の底力を見せ付けられた思いです。今大会は3名の初参加で新しい風が吹き出したように思います。今後の優勝争いは厳しくなることが必至です。なんとってプロと呼ぶしかないスコアの方々の参戦になりますから。大会終了後のパーティーはすき焼を囲んでの楽しい時間になりました。驚くことは会員皆様の食欲と飲んだワインの多さです。これも会員皆様の健康と、楽しい時間を過ごされた賜物と解釈致しまして、親睦委員会一同感謝致しております。

何度も言わせていただきますが、会員皆様、参加しなくては何も始まらないですよ。今後の行事に会員皆様、多数の参加を期待しています。



04.1.3 於:アジア下館カントリー倶楽部

氏 名			G	H	N	R
増 淵 文 夫	52	51	103	27	76	1
永 盛 友 治	41	42	83	7	76	2
新 井 和 雄	51	46	97	19	78	3
大 島 康 洋	46	50	96	17	79	4
星 野 英 夫	48	50	98	18	80	5
井 狩 浩 一	52	46	98	17	81	6
百目鬼 博 行	45	50	95	14	81	7
新 井 利 平	53	49	102	20	82	8
佐 藤 仁 一	65	53	118	36	82	9
関 谷 徹	49	48	97	14	83	10
鈴 木 光 則	41	60	101	18	83	11
新 井 雅 勝	56	56	112	27	85	12
日向野 陽	46	49	95	6	89	13
小 林 一 彦	56	54	110	17	93	14
根 岸 六 郎	58	58	116	22	94	15
鈴 木 啓 正			N	R		
高 橋 靖 忠	42	50	92	初		
館 野 孝 男	36	41	77	初		
飯 田 敏 夫	38	39	77	初		

「ゴルフこそ我が人生のパートナー」

増淵 文夫

平成16年、自分にとりましては最良幕開け、と申しますのは、新春ゴルフコンペに於いて親子揃って優勝の美酒を頂く事が出来ました。

私がゴルフを始めたのは、昭和38年、下館アジアカントリークラブ・オープン1年前の時だったから、かれこれ40余年になる。

当時は未だゴルフ場など近くにはなく、ある先輩に突然ゴルフ場へ引っ張り出された。佐野の唐沢カントリークラブであった。勿論借り物のクラブとシューズで早速練習場へ。先輩からクラブの握り方やスイング等を教えて頂き50球程打つうちにアイアンのショットがまずまずだったのでコースへ直行。4月下旬のコースは特に素晴らしい。先輩と美人のキャディさん(北海道出身)のアドバイスを受けながらのプレーで初めてゴルフと言うものを体験したが、初打ちにも拘わらず69・68のスコアには自分でも吃驚、先輩やキャディさんに素質があると褒められた事は今でも忘れられない。

話はそれるが、私は小さい頃から神社の広大な境内で思う存分飛び廻って成長し、14才~17才時には卓球に没頭し、18才~20才では陸軍少年特幹候補生として足腰を十分に鍛えられた結果だと思う。しかし、20年程前には、自信過剰と不注意により突然の腰痛にて二ヶ月の入院(通院二ヶ月) 亦、10年前には急性胃潰瘍にて入院治療も、先輩ゴルフ友人のお蔭で名医に巡り合い、身体を傷つけることなく治癒し、今日まで時には若い方々とのプレーも迷惑をかけず達者で歩ける理由だと思っている。

私は自分の生活の中にゴルフをとり入れている。それは、何もかも自分の責任に於いてプレーするのがゴルフだから、自ら善を引き出すような、或いは追求するような気持ちがないと良いプレーヤーにはなれない。どの道であれ最善を尽くすのは難しいものである。「ゴルフで得た友は一生の友と言われる」友人と言う点でも、私の人生の豊かさや広がりを持たせてくれた。一緒にプレーしながら、ワイワイやり合い、後で風呂につかって裸でしゃべり合い、お互いに何んの遠慮もなく赤裸々な付き合いが出来る。どうしたって親くなる。「じゃ今度は誰それと一緒に」と友情の輪も広がる。プレーしていると人柄もわかり実に楽しい。

プロゴルファーでは杉本英世氏。その一門の菊地勝治君、上原兄弟、新井兄弟と若い時はよくプレーをしたが、中でも中村寅吉と一緒にプレーして特にバッティングを褒められ、そのバターは名品だから生涯手離すではない、と言われた事が特に印象深い。そのバターはある社長からプレゼントされた物で、私の宝物として今でも大事に愛用している。

ざっと40余年、数えきれない程内外のコースを廻った。当初から一緒にプレーをした先輩や同僚もやはりこの年令になると、毎年一人、二人と病に倒れたり、亡くなって行き、とても寂しい思いをする。

優勝杯、ベストグロス賞等が何十個がある。それらを見ていてもやはりそれぞれに想い出があり、一緒にプレーした人達の表情が浮かんできたりする。人生を振り返るのにこんないい対象はなく、その度に満足感のようなものを感じるのである。ゴルフは人と関係、人との触れ合いを深める手段として最高のものである。

ゴルフを人生の友として長く長く付き合っていきたい。そう言う訳で、「ゴルフは人生のパートナー」と言ってもいいようなものである。

毎月何回かはプレーしているが、やはり腰痛後のコルセット着用もあってか、加えて年と共に飛距離がなくなった。でも、楽しんでやれたらそれでいいと思っ

てはいるが、それでもショートホールはパーを心掛けている。そう言うホールはファイトを燃やして「ヨシ、このホール」と狙っていくようにしている。そういう意慾だけは持ち続けていたい。人間何をするにも意慾を無くしてはすべて終わりだ。

私がゴルフを始めた頃は、プレーする人も少なかった。今日の国民的スポーツのようになった事を思えば、本当に昔日の感があるが、大衆化された事はそれはそれで結構だと思う。それぞれのプレーヤーが自分のゴルフを楽しめばそれで良いと思う。自分は自分で楽しくマイペースで回りたいと思う。何んと言っても健康が第一だから「無理してゴルフ場で斃れた」などと言

われないように、この人生の大事なパートナーと楽しく生涯を付き合っていきたいものである。

曰く、ゴルフこそ我が人生の哲学道である。

平成16年1月吉日

Smile Box 加藤 昌美 委員長

日向野陽さん 明けましておめでとうございます。本年もよろしくご指導の程お願い致します。

浜野紘嗣さん 明けましてお目出とうございます。今年度は、特に宜しくご指導の程お願い致します。

小林一彦さん 新年あけましておめでとうございます。本年も昨年同様よろしくお願い致します。正月3日のゴルフコンペには親睦委員会の皆様には大変お世話になりました。鴨志田寿夫さんの入会を祝して。

鴨志田寿夫さん 今度、入会いたしました、鴨志田です。今後とも宜しくお願い致します。

浜野 清さん 新年お目出度う御座居ます。会長さん始めあと半才みなさんの御健勝を祈ります。

井狩浩一さん 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

小倉利一さん 新年おめでとうございます。

田中 忍さん 「与楽抜苦の贈り物」今年も当クラブ会員根岸六郎氏より、1月5日下館市社会福祉協議会へ多額の寄附金を頂きました。社協会長として心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

柿田平吉さん 明けましておめでとうございます。鴨志田さんの入会を記念して。

増淵文夫さん 明けまして御目出度ございます。新春ゴルフコンペには良きパートナーに恵まれ優勝することが出来ました。感謝申し上げますと共に親睦委員会の皆様ご苦労さまでした。

小葉俊夫さん 新年お目出とう御座居ます。今年も宜敷お願い致します。

津田進三さん
堀江清彦さん
鈴木 貢さん
星野英夫さん

永盛 武さん

新井雅勝さん

大林 稔さん
高橋秀夫さん

奥沢裕二さん

細谷 貢さん

柳沢和己さん

加藤昌美さん

関谷 徹さん

飯島康夫さん
荒川洋一さん

佐藤仁一さん

鈴木光則さん
丸山靖則さん

諏訪哲也さん
永盛友治さん

栗原正直さん

新井和雄さん
横山政人さん

司代隆之さん
渡辺利夫さん

上野広志さん

百目鬼博行さん

高橋靖忠さん

頌春。今年もよろしくお願い致します。本年もよろしくお願い致します。

謹賀新年。今年も宜しくお願い致します。明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。又、鴨志田さんの入会を記念して。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

新年あけましてお目出度ございます。本年もよろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。2004年、明けましておめでとうございます。今年こそ不景氣風を吹き飛ばしたいものです。今年もどうぞよろしく。RIにとってもクラブにとっても節目の年となります。エンジョイロータリー。おめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

新年・明けましてお目出度うございます。本年もよろしくお願い致します。

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。スマイルボックス委員会として鴨志田寿夫さんの入会を記念して。

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

明けましてお目出とうございます。明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

新年おめでとうございます。今年もよろしく御願致します。1月3日の新春コンペ親睦委員の皆様お世話になりました。ありがとうございました。

本年もよろしくお願い致します。

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

謹賀新年。

新年おめでとうございます。恒例の初打ちゴルフコンペでは、親睦委員会の皆様や同伴の日向野会長、関谷さん、飯田さんにお世話になりました。新年早々準優勝させて頂きました。優勝の増淵文夫さん、おめでとうございます。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

謹賀新年。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。

本日の合計 ￥78,000 累計 ￥1,412,000

新年初例会 スナップ

